

ポイント完全マスター！

# 国語読解の名人Ⅰ

## はじめに

皆さんは国語の長文読解は得意ですか。

もしあなたが長文読解を苦手としているなら、ただやみくもに問題量をこなすだけではそれは解決しません。長文を読みこなすにはコツがあります。それは、次の3点です。

①まず大切なことは鉛筆を持つことです。文を読んでいて大切だと思った語句を○で囲んだり、結論などが書いてある文に線を引きましょう。

②次に大切なことは文全体を通じ、作者が何を伝えたいのかを把握することです。○で囲んだところや、線を引いたところを中心に読みましょう。

③そして最後に、設問にあてはまる部分を本文から探すことです。国語の長文読解問題は数学などと違い、答えは「問題文の中に必ずかくされて」います。

本書は、以上の3点を自然にマスターできるよう編集された画期的な教材です。

この教材を通じて、あなたが文章を読むことが好きになり、そして国語の点数がアップすることを願っています。

## 本書の三大特色

### 一．厳選された文章

みなさんが興味を持って読めるよう、文章は新鮮味あふれるものを選びました。途中で飽きることなく最後まで楽しく読み進めることができます。

### 二．高校入試頻出の問題

各回には3つの大問を設けてあります。

「キーワードをさがそう！」では、文章中のキーワードを見つける力を身につけられます。

「ポイントをつかもう！」では、文章全体の内容を理解する力が養えます。

「文を深く読み取ろう！」では、答えは必ず本文中にあるということを意識し、文章を読みこなす力が身につけられます。

すべての問題は高校入試でよく出題されるパターンを集めてありますから、入試本番での得点アップにつながるでしょう。

### 三．3つにランク分けされた問題

初級から中級、そして上級へと問題がレベルアップする編集により、やさしい問題から順序立てて取り組むことができます。その結果、問題を解く力を着実につけることができ、あなたの自信へとつながっていきます。

	初 級																											中 級																											上 級						
	回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																																	
単元名	小説文①	小説文②	説明文①	説明文②	随筆文①	随筆文②	論説文①	古文①	漢文①	小説文③	小説文④	説明文③	説明文④	随筆文③	論説文②	詩と鑑賞文	俳句と鑑賞文	古文②	漢文②	小説文⑤	小説文⑥	随筆文④	論説文③	論説文④	詩と解説文	古文③	漢文③																																		
タイトル	クレヨン王国の危機	コイを逃がすな！	シマウマの縞は何のためにある？	ミネラルウォーターのふしぎ	セミは美人の生まれ変わり	サンタクロースをつかまえろ！	プレゼントをとり戻すとき	かぐや姫への贈り物	管仲と鮑叔	心をこめたてるてるぼうず	魔女のむすめは魔女？	カッコウの子育て	ジャンケン必勝法	強くて弱い原田の大ジャンプ！	昔話は真実？	秋の天はどこまで？	糸を引っばる甲虫	琵琶を返して！	目印をつけたはずなのに	ヨモギの葉の湿布は何に効く？	蛍の光は熱くない	プールに先に飛び込んだのは弟	ネコが獲物を家に持ち帰るのはなぜ？	いろいろな世界地図	愛する犬との別れ	木を三つに分ける？	春、友をたずねる	ことばの知識（ことわざ・慣用句・四字熟語）																																	
	―福永令三『クレヨン王国の十二月』―	―阿部夏丸『見えない敵』―	―今泉忠明『動物たちの「衣・食・住」学』―	―橋本淳司『水のおもしろふしぎ雑学』インデックス・コミュニケーションズ刊―	―澤口たまみ『虫のつぶやき聞こえたよ』―	―河合隼雄『おはなし おはなし』―	―増田光吉『アメリカの家族・日本の家族』―	―『竹取物語』―	―『十八史略』―	―後藤竜二『天使で大地はいっぱいだ』―	―角野栄子『魔女の宅急便』福音館書店刊―	―長谷川眞理子『進化とはなんだろう』―	―中村義作『マンホールのふたはなぜ丸い？』―	―沢木耕太郎『冬日記』―	―阿部謹也『自分のなかに歴史をよむ』―	―財部鳥子『詩の贈りもの12カ月(秋・冬)』―	―草間時彦『俳句十二月』―	―『古今著聞集』―	―『呂氏春秋』―	―倉橋耀子『いちご』―	―立松和平『卵洗い』―	―森下典子『決死のダイビング』―	―日高敏隆『ネコたちをめぐる世界』―	―森田 喬『神の眼 鳥の眼 蟻の眼』―	―土橋治重『日本の愛の詩』―	―『御伽草子』―	―高啓『胡隱君を尋ぬ』―																																		
ページ	2	4	6	8	10	12	14	16	17	18	20	22	24	26	28	30	31	32	33	34	36	38	40	42	44	46	47	48																																	



## ターゲット

■情景や様子をつかもう。

■登場人物の気持ちを会話や行動からつかもう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

なんという光景だったでしょう！

細長い十二本のクレヨンたちが、時計の数字のように、まん丸くならび、会議でも開いているようなのです。

クレヨンたちは、めいめいの色の洋服と、くつと、どんがりぼうしをかぶり、かみの毛の色も、それぞれにちがっていました。

そして、よく見ると、そのえんじんのまん中に、トカゲのようなへんな動物がすわっていました。それは、十二色のたてじまのうわぎをきて、十二色のよこじまのズボンをはき、近眼らしいめがねをかけた、カメレオンでした。

クレヨンたちは、カメレオンがなにかしゃべるのを、いっしょうけんめい、きいているようです。

ユカも、耳をすましました。

すると、木の葉のすれあうようなサヤサヤという音が、だんだん、はっきりした声になってきこえはじめました。

「たいへんなことになった。」と、カメレオンは、年をとったいかめしい声で、十二本のクレヨンにいました。

「よいか、心をおちつけてきいてもらいたい。いまから十時間まえ、わがゴールデン王さまが、とつぜん、どこかへいってしまわれたのじゃ。つまり、家出をなすったのだ。」

20

15

10

5

## Hop

キーワードをさがそう！

(1) カメレオンのことばを聞いたときのクレヨンたちの気持ちを表すことばを文章中から四字で抜き出し、<sup>(1)</sup> で囲みなさい。

(2) 「王さまがいなくなれば」で始まる会話文の話し手はだれか。文章中から抜き出し、<sup>(2)</sup> で囲みなさい。

(3) カメレオンが考える「たいへんなこと」とは、王さまがどうしたことを指しているか。文章中から二字で抜き出し、<sup>(3)</sup> で囲みなさい。

(4) ユカが見た光景とは何だったのか。文章中から九字で抜き出し、<sup>(4)</sup> で囲みなさい。

## Step

ポイントをつかもう！

■ ユカが見た光景として最も適切なものに○をつけなさい。

ア 王さまをまん中にして、十二色のクレヨンがまん丸くならんでいる。

イ カメレオンをまん中にして、十二色のクレヨンがまん丸くならんでいる。

ウ 王さまと王妃を前にして、十二色のクレヨンが一行にならんでいる。

エ カメレオンと十二色のクレヨンが一行にならんでいる。

## クレヨン王国の危機

もはねあがったり、ぶったおれたりました。

①「王さまがいなくなれば、わがクレヨン王国がどんなふうになるかは、みなもよく、承知のはずじゃ。王さまは、太陽じゃ。光じゃ。王さまをうしなえば、われわれはだんだん色をうしなうて、つまり、世界は白黒の写真のように、かたちとかげだけになってしまふ。赤いリングも、みどりの葉も、青い空ももう二度と見ることができないのじゃ。そうなれば、もう、あくまの国じゃ。人間もほろびてしまふ。地球も死んでしまふ。もし、この一年のうちに、王さまをつれもどさなければ、そういうおそろしいことになる。そこでわしは、総理大臣として、シルバー王妃に、すぐ王さまをさがしにおでかけになるように、おねがいました。つまり、王さまはにげだされた。おきさきさまは、王さまをつれもどしに、旅立たれる。これは、<sup>②</sup>長くて、むずかしい旅になる。というわけは、ゴールデン王さまは、シルバー王妃にあてた書きおきの中で、おきさきさまが十二のわるいくせをなおさないかぎり、ぜったいにもどつてこないとおっしゃっておられるのじゃ。」

やつと、ユカには、それがクレヨン王国の閣議だということがわかりました。カメレオンが、総理大臣、十二色のクレヨンは、それぞれの大臣というわけです。

40



Jump

文を深く読み取ろう！

(1) 線①「王さまがいなくなれば」どうなってしまふのか。三つ書きなさい。

--	--	--

(2) 線②「長くて、むずかしい旅」とあるが、だれが何のためにする旅なのか。「ための旅」に続くように二十文字以内で書きなさい。

--	--

ための旅

(3) 線③「長くて、むずかしい旅」になるのはなぜか。次の文の空欄にあてはまることを書きなさい。

--	--

は、

--	--

がなお

らないかぎり、ぜったいに帰らないと決心を固めているから。